

## 会 議 報 告 書

会議名	令和2年度第1回富士見公民館運営推進委員会
日 時	令和2年7月3日（金）午後1時30分～2時40分
場 所	富士見公民館 2階 第1研修室
出席者	<p>（委員 8人）            齊藤委員長、小林副委員長、白石委員、吉原委員、沛野委員            樺澤委員、小林委員、奥田委員</p> <p>（事務局 2人）            新井館長、橋本副主幹</p>
欠席者	大手委員、萩原委員
傍聴者	なし
議題	<p>1 令和2年度富士見公民館運営の基本的事項について</p> <p>2 令和2年度富士見公民館事業計画について</p> <p>3 その他（コミュニティデザイン及び公民館利用ガイドラインについて）</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ 令和2年度第1回富士見公民館運営推進委員会資料</li> </ul>
結果概要	<p>○委員委嘱式            新委員4名に対し、委嘱状を交付した。</p> <p>○委員会            令和2年度富士見公民館経営の基本的事項、富士見公民館事業計画、コミュニティデザイン及び公民館利用ガイドラインを新井館長から説明した。</p>

## 主な意見・質疑応答

(齊藤委員長)

コロナウイルスの関係で事業が実施できない状況ですが、今後うまく調整がとれる様な事もあるのではないかと思います。富士見は小学校が4つあり、1つの中学校に進む中で地域のコミュニケーションは大変大事だと日頃から思っております。

富士見は村の時代から行事は自分たちで運営し、それなりのこだわりも持ち、昔からの事業が引き継がれているのかなと今回の資料で感じがしています。今後は切り替えの時期にもなり、新しい生活の中から新たな事業が生まれるのではないかとイメージして皆さんに伺いたいと思います。

(小林委員)

富士見地区コミュニティデザインをできれば各自治会公民館等に配布し、張り出して周知してほしい。富士見地区の偉人や内容を知らない人がたくさんいる。富士見のことを知っていただくには良いと思う。

(齊藤委員長)

以前富士見の数名の偉人のパネルを自治会館に飾った。機会がある度に偉人を知っていただけた。コミュニティデザインも大きく拡大して見ていただきたい。

(事務局)

拡大して配布できるように準備します。

(小林副委員長)

公民館入口上部の遮光カーテンが設置できるようになり、今後は展示物に陽が差し込まなくなるので良かった。関係者に伝えておきます。

(白石委員)

文化協会では文化祭、文化講演会、また納涼のつどいについては中学校の吹奏楽部に毎年協力していただいておりますが、今年は実施ができそうもありません。今まで公民館を利用できたので活動ができたと今、強く感じています。

自主学习グループの見学体験月間で見学者が来ていただき、新しい会員ができて非常にありがたかった。こんな状況ですけれども、何かできる事を努力し、活動ができたらいいなと考えています。

(齊藤委員長)

新しい生活の中で現在の公民館活動や富士見の特色を出すようなイベントはほとんどが規制を受けてしまう状況であります。良いやり方が見つけられればいいなと思

う。自治会活動もほとんどゼロになってしまい、若い人たちの活性化を図った中で自治会活動をやらなければならないと思っております。超高齢化時代が進んでいる中で、公民館を利用した事業が高齢者にもっと分かりやすくできたらいいなと思います。青少推で今のこの時代で実施できる事業があれば良いですね。

(吉原委員)

昨夜の市の青少推会議で出た話ですが、環境が整わないと厳しいが、若い方ならパソコンやスマホ関係ができる人は多いが、50歳を過ぎるとなかなかやる気がしない人の方が多い。中には歳をとってもパソコンを使える人はいます。

コロナウイルスの関係がいつ終息するかわからない現在でオンラインシステムを構築したら良いと言う意見が出ました。オンラインをできるところから、できる人から広げて行き、できない人には資料を郵送等で対応するという提案がでました。確実に時代はその方向に進んでいると思います。いずれは自宅からオンラインシステムで繋がる時代が来るのではないかと感じました。それに対してやってみようという感覚でないといけないかなと思います。

(齊藤委員長)

今回のコロナの関係でかなり環境が変わってくると思う。旧料金所から箕輪、赤城山にかけて観光事業の強化で光回線が整備された。観光地は光のエリアにし、ワイハの接続環境にして情報を発信できれば良いと思う。公民館では英会話やパソコン教室をしているがそれを有効的に使えるような工夫が必要かなと思う。高齢者に対して利便性が足りないんるんバスを乗合いタクシーで家まで呼べるように進めている。先日、中学校に行ったところパソコンを利用した授業が行われていてとても進んでいる。

(小林副委員長)

生涯学習奨励員の11月の生涯学習研修会の実施はどうでしょうか

(事務局)

今後の役員会で開催を検討します。

(小林委員)

小学生の場合、低学年はタブレットより直接、先生の話す事を聞いて対面式が良いと思います。読み聞かせでは地域の方にお世話になっております。7月10日から始まり、子どもたちの健全育成にお世話になれたらと思っています。デイキャンプになる予定のものについても人数が少ない白川小学校では積極的に参加させてもらって他

の小学校の6年生と交流ができるのを楽しみにしています。

(奥田委員)

富士見中学校2年目ですが、中学校の子供たちが地域の方々にすごく愛されて育てられているなど実感しています。子供たちも地元が大好きで高校生になっても大学で東京に行っても「また富士見に帰って来たい」と言っている子がとても多いので嬉しく思っています。そういう子供たちになっているというのは地域の方々と触れ合う機会がとても多いからだと思います。富士見独自で続いているものがいっぱいあり、例えばVYSが主導しているフレンドシップキャンプがずっと続いていて4つの小学校の子が一緒になってキャンプしている。日本で一番群馬県がかかるたが多い地域だが、地域のかるたを皆が愛してやっているのはとても大切な部分だと思います。新しい事業を展開していくことも大切だと思いますが、続いているものが今回、コロナでなくなっているが、来年度以降も是非続けてもらいたいと思います。

(樺澤委員)

富士見おはなしの会では「富士見の偉人を知ろう」というのがあります。船津伝次平、羽鳥重郎、羽鳥又男、小淵志ちの4人の紹介ができますので、声をかけていただければありがたいです。

(沖野委員)

保健推進員会では2月から6月までの定例会は中止になり、7月に再開予定です。子育て支援やあかちゃん事業のお手伝いが全て中止になり寂しいところですが、事業が再開の際には参加してお手伝いができればと思っています。